

科目名	歴史学概論			英文表記	Introduction to History		2010年3月15日
教員名：下郡剛							作成
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	対象学科	学年	
全学科	2	必修	履修	2	全学科	2	
目 標	1 前後の史実の連関を把握し、歴史を流れて理解できる。2 現代の我々とは異なる思想・価値観を理解することで、多面的なものの見方や考え方ができるようになる。3 現代と異なる形態の国家・社会・宗教等を学ぶことで、現代社会を相対的に把握できる能力を養う。						
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	全プログラム	
	○	○	○	◎	JABEE プログラム教育目標	機械システム A-1 B-1 B-3 B-4 C-4 情報通信 B-2 B-3 C-1 C-3 情報工学 B-2 C-1 C-4 生物資源 B-3	
授業概要、方針、履修上の注意	資・史料を提示し、歴史学的方法論を併せて説明することで、科学的・論理的に考える能力を高めるとともに、リアリティーある時代像の構築に努める。班単位で学生自ら課題を設定し、調査・発表・全体討論を行う。						
評価方法	試験・PBLに加え、授業への取り組み・発表・討論の内容等で総合的に評価する。						
教科書・教材	担当教員が作成したものを配布する						
参考図書	『日本歴史大系』（山川出版社）・『日本の歴史』（中央公論社）・下郡剛『後白河院政の研究』						
授 業 計 画							
授 業 項 目	時間	授 業 内 容					
1. 一年間のガイダンス	2	授業の方針・進め方等についての説明					
2～8. 律令国家の成立と展開	14	律令制下の諸制度の概要を知ること、古代・中世史理解の前提となる基礎知識を得る。皇位継承を基軸に据えること、奈良時代から平安時代前期の政治・社会史を流れて理解する。					
9. PBL班編制	2	PBL班編制（PBL1）と注意事項等の説明					
10. 第1回PBL班会議	2	第1回目のPBL班会議を行い、室町時代～昭和までの期間を対称に、班ごとにテーマを設定する（PBL1）					
11～15 撰関政治期の政治と社会	10	皇位継承を基軸に据えること、撰関・院政期の政治・社会史を、流れて理解するとともに、変化の思想的背景についても併せて理解する。					
16. 第2回PBL班会議	2	後期最初の授業で、次週発表のPBL中間発表のための最終確認を行う。					
17. PBL中間報告	2	班単位で設定した課題について、これまで調査した内容についての中間報告（PBL1）					
18. 第3回PBL班会議	2	前回の中間報告を踏まえ、今後の課題と対応方法をテーマに、班ごとで会議する（PBL1）					
19～22. 院政期の政治と社会	8	皇位継承を基軸に据えること、院政期の政治・社会史を、流れて理解するとともに、変化の思想的背景についても併せて理解する。また、撰関政治・院政双方の政治構造の差異を理解することで、古代から中世への移行について考える。					
23. 第4回PBL班会議	2	次回からの発表にそなえ、最後の会議を持つ（PBL1）					
24～29. PBL研究発表	12	班単位で調査した課題の最終発表と討論。（PBL1）1～6班。					
30. 前近代海上交通と大分の磨崖仏	2	前近代における海上交通の意義を時代別に理解し、論点を大分の磨崖仏に及ぼす。現地写真を使用して授業することで、リアリティーある説明を行う。					

学習時間合計	60	実時間	50
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）			

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分=1、100分=2）
通年は2ページ、半期は1ページ以内におさめる。